

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
生きる力を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	88%	100%	充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
<p>相手の人格と立場を理解し、尊重し、助け合うような人間形成が図れるよう、家庭教育に関する学習等の機会を設ける。            学級PTAや参観日等の話し合いの場で家庭教育のあり方について学習する。            家庭学習の習慣化、早寝・早起き・朝ごはん運動の推進</p>								
<b>平成22年度実績</b>								
<p>学校だより、学年通信、学級通信、保険だより、生徒指導通信を定期的に発行した。また、家庭に問いかけるような文章表現とした。            校区別人権・同和教育懇談会を人権同和教育参観日に行った。講演会やワークショップを行った。            三世代交流事業の参加。            参観日に仲間づくり、男女の協力、家族への感謝等の授業を行った。            PTA懇談会の充実、また公民館との連携により、区内懇談会を充実させる。</p>							決算額	
							実績値	90%
							進捗状況	4
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<p>父親も積極的に子供の教育に関わり、学校行事に参加していただいている。            学校便り等を家族全員で読んでもらうとありがたい。            授業参観者は多いが、その後の講演会等の参加者は少ない。児童とともに聴く講演会を持つと保護者の参加が少し増えた。            親子でコミュニケーションをとることができた。</p>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
<b>平成23年度予定</b>								
<p>学級PTAを中心に、みんなが会の企画・運営に参加できる授業を実施する。            公民館と共催で、家庭教育に関する講座を開催する。            より多くの方が、会の企画運営に参画できるような事業を開催する。            家庭科の授業において、家庭教育に関する学習等の機会について学習する。</p>							予算額	
							目標値	100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
家庭教育推進事業(地区公民館)	生涯学習課	26館	30館				
<b>事業の概要</b>							
<p>家庭教育力の向上を目指し、保護者会などの機会を活用し、思春期の子どもを持つ親を対象に公民館で家庭教育に関する講座を実施するもの。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>【家庭教育講座】            実施公民館数：24館            講座実施回数：57回            延べ時間数：107時間            参加者数：1,142人(うち、男性：203人、女性：939人)</p>							決算額
							205千円
							実績値
							24館
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>実施公民館数が、平成21年度現状値から2館減少した。            講座の内容として、子育て・食育等が中心となっているため、参加者がどうしても女性中心になってしまう。            職をもつ親が参加しやすいように夜間(18:00以降)の開講も積極的に進めていきたい。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成23年度予定</b>							
<p>【家庭教育講座】            実施公民館数：30館            講座実施回数：89回            延べ時間数：166時間</p>							予算額
							362千円
							目標値
							30館

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
校区別人権・同和教育懇談会	人権啓発課	2回	5回	充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
<p>人権尊重の意識を高めるとともに、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるため、毎年1回講師を招いての講演会等を開催するものである。</p>								
<b>平成22年度実績</b>								
<p>会場 宇和島市立宇和津小学校 平成22年6月20日(日) 参加者:210名 「今なら間に合う元気が出る子育てーあるもの・いいところ探しの心と技ー」 講師 愛媛大学非常勤講師 紅谷 博美 さん</p>							決算額	
							40千円	
							実績値	
							2回	
<p>会場 宇和島市立玉津小学校 平成22年11月12日(金) 参加者:64名 『千の風になって』によせて』 講師 前西条市教育委員会人権教育推進委員 秋川 暢宏 さん</p>							進捗状況	
							4	
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<p>講演内容は、それぞれ1年生の児童から保護者、地域の高齢者まで幅広い年齢層を対象にしている中、わかりやすいお話しをしていただき、身近なところから人権を考えるよい機会となった。また、親子での参加、地域住民への呼びかけにより地域参加型の人権・同和教育懇談会が実施できた。</p>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
<b>平成23年度予定</b>								
<p>人権尊重の意識を高め、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるために、人権問題講演会等を2回程度開催する。</p>							予算額	
							40千円	
							目標値	
							2回	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課 [子育て支援]	100%	100%	充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
通常保育の一部として行い、全ての保育所で実施している。							決算額
							0千円
							実績値
							100%
							進捗状況
							3
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
特になし							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成23年度予定</b>							
前年と同様							予算額
							0千円
							目標値
							100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
<b>具体的施策</b>	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	100%	100%	充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童生徒一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>幼児一人一人の特性を理解し、職員間の連携を密にして、全園児への対応ができるよう見守り援助した。幼児同士の関わりが深まり、協同して遊ぶ等、心を育んできた。          幼児一人一人の発達特性を理解し、よりよい成長が図れるよう見守ったり援助したりするとともに、友達と一緒に遊ぶ中で相手の思いに気付き思いやりの気持ちを育んできた。          他園との交流や、地域の人々との関わりを持つ機会を増やした。          身近な地域の方などに、実態に沿ったお話をさせていただいたりして、一緒に活動したりする。          幼稚園生活の中で、友達の良いところを認め合ったり、協力し合ったりできる活動を取り入れることで、上下関係や固定的な役割意識をもたないように取り組んでいる。          男女混合名簿の実施を行った。          保護者が園行事・研修会に参加した際に、子育てや家庭生活の大切さを啓発する。</p>							決算額
							実績値
							100%
							進捗状況
							5
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>幼児一人一人の発達に即した教育を行うための職員間での研修の持ち方や在り方          幼児の発達に即した教育を行うことができた。          自分の思いを伝え合い、決まりの大切さや自己抑制ができるよう援助する。          交流活動を繰り返したり、継続したりすることで成果があった。          実際にお話を聞くなどの活動ができなかった。          園生活の中で、互いに協力し合いながら当番活動などを行なうことができている。一人一人を大切に教育の充実が図れるようにしていきたい。          子どもの成長を伝えることで子育てに関心を示してもらっているようである。今後も家庭生活の大切さを啓発していきたい。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成23年度予定</b>							
<p>幼児理解と個々の発達や実態に即した指導の在り方を職員間で研修する場の充実          一人一人の幼児理解と個にあった指導のあり方          幼児が、目的意識をもって参加できるように機会を作る。          身近な地域の方などに、実態に沿ったお話をさせていただいたり、一緒に活動したりする。          今後も見直しを図りながら継続して実施する。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
<b>具体的施策</b>	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
豊かな心を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	95%	100%	充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなど教育の充実。児童一人一人の特性に応じた指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止を図る。男女平等の精神を学校教育全体を通して児童に指導していく。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>教員一人一人の能力・特性を生かした公務分掌の配置。 清掃、運動会、遠足、栽培活動などを1年生から6年生まで、3班に分けた縦割り班で行った。 全校児童を対象に「なかよしアンケート」を学期に1回計3回行った。 家庭教育のいろいろな場面で、折に触れ指導してきた。 差別的な言動には、毅然とした態度で指導を行った。</p>							決算額
							実績値
							95%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>組織力を生かした指導が充実してきた。 学年、性別を超えた助け合いや教え合いで、協力して活動に取り組むことができた。 児童からの情報収集ができ、いじめや不登校の事前防止に役立った。 男女平等の意識は、ほとんどの児童が持っている。 いじめに関しては、今後もしっかり注意していかねばならない。また、保護者への啓発を今後も続けていきたい。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成23年度予定</b>							
<p>保育所、障害者施設、老人ホームなどとの交流活動をさらに充実させる。 縦割りの活動や、交流学习によるふれあいを継続させる。 児童一人一人に目を向けた教育相談の充実を図っていく。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
<b>具体的施策</b>	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
教職員人権・同和教育研修会(講演会)	人権啓発課	1回					
<b>事業の概要</b>							
<p>様々な人権問題解決への確固たる姿勢を確立するとともに、男女平等の意識も含めた人権意識を高め、一人ひとりの教職員の資質向上を図るため年1回研修会を開催する。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
日 時	平成22年8月10日(火)						決算額
会 場	宇和島市立コスモスホール三間						389千円
テ - マ	「人としての尊厳を守る～貧困と人権～」						実績値
講 師	NPO法人自立生活サポートセンター「もやい」事務局長・内閣参与 湯浅 誠 さん						1回
参加人数	467名						進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>「21世紀に入っの社会変動と今日の世界的な不況の進行は、社会的格差と経済的貧困を拡大させ、その影響は、子どもたちの生活に重くのしかかり、子どもたちの学習意欲の低下や将来への夢と展望がもてない状況を生み出している。」という現代社会の抱える貧困と格差の問題は、子どもの貧困に連鎖しているという講師のお話しは、本市も例外とは言えない。参加した467名の教職員にとって、こうした状況を克服していける、まさに子どもたちの生きる力を培う教育内容と手立てについて、多角的・本質的にとらえ、考えるきっかけとなった。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
<b>平成23年度予定</b>							
<p>教育・就労・生活実態などの格差が拡大していると言われる昨今、「教育」のもつ意義は、より大きくなっています。そこで、平成23年度は、格差や差別の実態を明らかにしながら「人権教育とは何か」について学ぶため、近畿大学の北口末広教授を講師に招聘し、宇和島市の全教職員に対して、平成23年8月9日(火)に宇和島市立コスモスホール三間で講演会を開催する。</p>						予算額	
						400千円	
						目標値	
						1回	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
<b>具体的施策</b>	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
特別支援教育推進事業	教育総務課	100%					
<b>事業の概要</b>							
<p>子どもたちが将来の進路や仕事、家庭生活等について、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう、指導の充実を図ります。また、一人一人のニーズに合った特別支援教育の充実を図ります。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>園便り・クラス便り・アンケートや行事の感想等を通して、保護者への啓発・発信を行ってきた。保護者学習会・クラス懇談会・園だより・クラスだより等を通して、幼児の育ちや保護者の思いを話し合ったり発信したりして子育ての大切さや楽しさを伝えた。          幼児一人一人のよさを認め、主体的に行動する幼児像を目指した。          配慮を要する幼児の入園希望があるならば、できうる限り職員全体での意識統一の下、善処できる体制づくりをしていく。          生きる力の育成等幼稚園教育活動全般の中で、幼児の発達段階に応じて指導している。          一人一人の個性や自主性を尊重し、様々な体験を通して自分に自信をもち、自分を大切にできる子どもを育てる。</p>						決算額	
						実績値	100%
						進捗状況	5
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>子どもを取り巻く環境の変化を踏まえつつ、生きる力の基礎を身につける心の教育の充実に努める。保護者アンケート等を活用し、その中から課題や問題点を探る。          自分で考え自分で行動することができる、生きる力の基礎を身につけることが大切である。          個性を生かした保育は推進できたが、小人数の物足りなさは否めない。          ゆとりある人員の確保や、すべての職員に対しての研修の必要性を感じている。          園生活の中で、生活や遊びなど様々な体験を通して、人と関わる力や表現する力、思考力等が育ってきている。しかし、個人差に応じた細かい配慮が必要である。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
<b>平成23年度予定</b>							
<p>家庭教育・子育ての在り方やサポート・連携の充実          家庭教育学習会の内容の選択と連携の充実          保育の様々な場面で、選択の幅が広がるように、環境や教材を検討する。          配慮を要する幼児には人員の確保や職員全体での意識統一を図り保育の機会が与えられるように努める。          今後も見直しを図りながら継続して実施する。          園内研修・各研修会への参加</p>						予算額	
						目標値	100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-



<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
特別支援教育推進事業	学校教育課	90%					
<b>事業の概要</b>							
<p>一人一人のニーズにあった特別支援教育の充実を図る。          校内支援委員会において、より適切な支援ができるようにする。          一人一人の良さを生かす教育を推進する。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>特別教育支援員1名を年間175時間活用した。          個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成した。          校内研修において取り上げ、特別支援教育校内委員会・校内就学指導委員会の充実を図った。          通常学級との交流学集会を各学期、全学年対象に行った。          ケース会議の開催、アンケートの実施。</p>							決算額
							実績値
							90%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>支援員が授業に入ること対象児童はもとより、他の児童も落ち着いて授業に取り組みめるようになった。          個別の支援計画や指導計画に基づき、全教職員が共通理解のもと、長期的な視野に立った指導や関わりができた。          支援員との協力のもと落ち着いた学習活動ができた。          教職員の研修が深まり、個に視点を充てた取り組みをすることができた。          保護者に対する啓発のあり方が課題としてある。          発達障害について、さらに研修を深めたい。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成23年度予定</b>							
<p>個に応じた支援活動の充実          特別支援学級の児童に対し、保護者との連携、支援員との協力体制の強化により適切な配慮と指導に務める。          特に必要な児童に対し、支援員の補充のほか具体的な策を講じる。          巡回教育相談等を活用して、特別な支援を必要とする児童に対する指導のあり方について研修会を行う。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
進路指導推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	100%	100%	充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
<p>将来の進路や仕事、家庭生活等において、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう指導の充実を図る。 キャリア教育の推進。 発達段階に応じた職業意識を育てる。</p>								
<b>平成22年度実績</b>								
<p>幼稚園とのふれあいの機会を設定し、異なる年齢集団の枠を広げたり、子育てについて学んだりした。 個人差への対応のため補充学習にも力を入れた。 性別にとらわれない児童会活動、係・当番活動の充実。 各学年の授業で、校区内体験を行ったり、いろいろな仕事について学習することができた。 職業選択の自由の保障、将来の夢や希望を持ち、明るい気持ちで生活しようとする態度の育成に努めた。 職場体験学習による多様な職業体験。</p>							決算額	
							実績値	78%
							進捗状況	4
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<p>児童にとって、児童会活動・係活動・当番活動で働くことの大切さが理解できた。 活動を通して、男女の協力体制がさらに強まった。 学習発表会で6年生が、将来の夢を堂々と語る事ができた。 進路選択について生徒の考え方が変わった。</p>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
<b>平成23年度予定</b>								
<p>異なる年齢集団による活動の活性化と個別の補充学習をいっそう計画的に進めていく。 委員会活動や奉仕活動を通じて、働くことの尊さを実感させる。 社会見学、体験活動の実施する。 更なる学習の定着を図り、将来について考えさせる時間を充実させる。</p>							予算額	
							目標値	100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[3] 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
幼稚園運営における男女共同参画の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	87.5%	100%	充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
幼稚園運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、これがPTA活動などにも浸透するよう努めます。								
<b>平成22年度実績</b>								
PTA活動に積極的に取り組み、活動が浸透するよう努めた。 職員会や園内研修で共通意識を持ち、協力して仕事に取り組んだ。 園児(家庭)数の減少に伴い、PTA活動内容の精選を行なった。 より多くの男性に参加してもらおうようなPTA活動を心掛ける。 保護者が参加しやすいPTA活動を行う。園行事への参加呼びかけを行う。 園が中核となって、PTA活動の中で進める。 職員会や園内研修などで共通意識を持ち、協力して仕事に取り組む。							決算額	
							実績値	87.5%
							進捗状況	3
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
PTA活動の中で、家庭教育に関する学習の機会を提供する。 PTA活動の中で、男女参画に関わる家庭教育に関する学習の機会を提供する。 活動内容の精選により、充実したスムーズな取組ができた。 PTA活動にも男性の参加が増えてきている。 PTAの研修会等への参加は仕事の都合などで、母親中心になってしまいがちであった。園行事には父親の参加も多く協力的である。今後も参加しやすい設定を工夫していきたい。								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5	
<b>平成23年度予定</b>								
子育て学習会や保護者学習会・PTA活動の充実 園内研修会、幼児への適切な指導のための研修会、保護者学習会の充実 小規模園ならではの活動内容を考える。 園に気軽に足を運んでもらえるような行事やPTA活動を心掛ける。 今後も活動の見直しを図りながら継続して実施する。 園内研修と幼児への適切な指導のための研修やPTA活動の充実。							予算額	
							目標値	100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[3] 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
開かれた学校づくり推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	83%	100%				
<b>事業の概要</b>							
<p>学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、PTA活動などにも浸透するよう努めている。専門職としての資質・能力の向上と信頼される組織作り。保護者や地域の人々と連携した学校づくり。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>教員一人一人の能力・特性を生かした適材適所による公務分掌の推進。 男女の特性を活かしたPTA活動への参画。 互いによさを認め合い、高めあう教職員の雰囲気作りができた。 重点改善指導目標に対する校内委員会を設置し、男女の性別にとらわれずにチームで行動する組織作りに努めた。 地域や学校評価委員と積極的な意見交換を行った。</p>							決算額
							実績値
							85%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>適材適所の組織作りができ、スムーズな学校運営ができた。 PTA活動に父親の参加が増えた。 男女平等は浸透している。 少人数の教職員組織なので、何をするにも共通理解のもと、協力した実践ができています。 学校関係者評価委員会での答申を元に明確になった課題に対して、具体的な手立てや方策を講じて、具体的な改善や問題解決に取り組んだ</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成23年度予定</b>							
<p>新学習指導要領の実施及び共同事務体制の開始に伴う実践のまとめにより、望まれる事務分掌のあり方に努める。 全員で協力して取り組む組織体制作り。 男女の特性を生かしたPTA活動(父ちゃん母ちゃんの会)への参画。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[4] 教育関係者への研修の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
教職員の資質・能力の向上推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	76%	100%	充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
<p>児童生徒に対し適切な指導が行えるよう、教育関係者(教職員)への男女共同参画に関わる研修の充実。 教職員の資質・能力の向上・各種研修会への参加の充実。</p>								
<b>平成22年度実績</b>								
<p>月2回の定期校内研修を実施した。また個人で研修会へ参加し校内研修や職員会議で報告した。 年間10回以上の授業研究会の実施、30回以上の校内研修会の実施 思索のテストで児童の実態や教師の指導について分析し、改善に努めた。 校内研修だけでなくいろいろな研修の機会を設けた。 南予教育事務所の指導訪問を実施した。</p>							決算額	
							実績値	78%
							進捗状況	4
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<p>教職員として意識の向上が見られた。 研究授業の実施にあたっては、学年部を中心に指導案審議を十分に行い授業者が自信を持って授業を公開することができた。 校内研修により、教員の資質能力を高める研修が実施でき、校務に活かすことができた。 指導主事より具体的な指導を受けた。 日頃の校務が多忙で、研修の機会が均等とはいえない。</p>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
<b>平成23年度予定</b>								
<p>教職員の能力、資質の向上のため計画的な校内研修を行う。 新学習指導要領の完全実施に伴う改善(研修機会の確保)に努める。 校外で、受講した研修内容を文書で報告し、知識の共有化を図る。</p>							予算額	
							目標値	100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[1] 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
男女共同参画出前講座	企画情報課 [総務]	1回	5回				
<b>事業の概要</b>							
<p>市民が男女共同参画を理解し、職場・学校・地域・家庭、その他の社会のあらゆる分野において男女共同参画社会の形成が促進されることを目的として、各種団体等が主催する集会や研修会につき、講師派遣及び謝礼金などの支援を行うもの。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
平成22年度については、要望がなかったため実績なし。							決算額
							0円
							実績値
							0回
							進捗状況
							1
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
<b>平成23年度予定</b>							
昨年度と同様に広報へ掲載して事業の周知を図り、団体等の実施する研修会等の支援を行う。							予算額
							20千円
							目標値
							2回

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	3 地域における男女平等に関する学習の推進
<b>具体的施策</b>	[1] 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
自治会別人権・同和問題学習会	人権啓発課	30回	120回				
<b>事業の概要</b>							
<p>昨今、マスコミ等では日々悲惨な事件や事故等が報じられている。学校では、いじめ・不登校、家庭では、幼児虐待・引きこもり・ニート・DV、職場では、リストラ・セクハラ・パワハラ等の言葉が頻繁に聞こえるようになってきた。地域のコミュニティーも疎遠になりつつある。</p> <p>このような状況の中で、心通い合う明るい町を作ることは皆の願いである。その願いを実現するために、人権・同和問題学習会を通じて、地域の住民と一緒に毎日の暮らしを見つめ直しながら色々な問題について意見交換をすることを目的とするものである。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>わになるう会：小地域別人権・同和教育懇談会            目的：同和問題を始めとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、あらゆる差別を解消する意欲と実践力を養う。            開催期間：平成22年10月8日～平成23年2月24日            会場：23自治集会所(37自治会区)            延べ参加者数：325名            内容：人権クイズ、録音素材による人権学習他            講師：公民館主事、教職員、その他</p> <p>であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会            テーマ：一人ひとりの人権が大切にされる「温かいふるさとづくり」をめざして            会場：各自治会集会所又は公民館(16箇所)            日時：平成22年10月1日(金)～15日(金) いずれも19:30～21:00            参加者：16自治会の地域住民(男：102名、女：69名、計：171名)            講師：三間町人権教育推進委員(34名：7班編成)</p>						決算額	
						940千円	
						実績値	
						39回	
						進捗状況	
						4	
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>わになるう会：小地域別人権・同和教育懇談会            参加者が年々減少しているため、周知や内容等の検討が必要である。</p> <p>であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会            回覧等で周知はしているが、参加者が各自治会10人程度と少なく、今後どう広めていくかが課題である。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
<b>平成23年度予定</b>							
<p>わになるう会：小地域別人権・同和教育懇談会            人権クイズや録音素材で同和問題、障害者問題、難民問題、児童虐待等人権について学習予定            予定期日：8月～2月(27自治会20会場で講座予定)</p> <p>であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会            平成23年度は14行政区で実施予定</p>						予算額	
						1022千円	
						目標値	
						34回	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[2] 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実		継続	新規
生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー	生涯学習課	0講座/年	1講座/年				
<b>事業の概要</b>							
講演会や研修会等あらゆる機会を通じて、男女共同参画の理念や内容についての啓発を行うために研修会を行う。							
<b>平成22年度実績</b>							
実績なし。							決算額
							0千円
							実績値
							0講座
							進捗状況
							2
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
平成22年度、講座実施とまでいかなかったが、来年度は目標の1講座を実施できるよう努力したい。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
<b>平成23年度予定</b>							
生涯学習の視点から、青少年人材育成といった「キャリア教育」に関して、若年層の「働くこと」、「職業の意義を把握できること」、「自身の将来を設計すること」等を意識付けることを目標に、市内高校生を対象に実施する事業の中での教諭・社会人を参集しての「男女共同参画社会」についての研修会を実施したい。							予算額
							100千円
							目標値
							1講座

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-



<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	3 地域における男女平等に関する学習の推進
<b>具体的施策</b>	[2] 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)				
市民啓発事業(差別をなくする市民のつどい)	人権啓発課	来場者数 1700人	5,000人	充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、あらゆる差別と偏見のない明るく住みよい町を実現するために、毎年人権の集いを開催するものである。							
<b>平成22年度実績</b>							
<b>事業名:</b> 『人権を考える市民の集い』 <b>テーマ:</b> 「一人一人が大切にされる人権のまちづくりをめざして」 <b>会場:</b> 吉田公民館大ホール <b>期日:</b> 平成23年2月11日(金) <b>参加人数:</b> 500名 <b>内容:</b> バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(連合婦人会吉田支部)、創作ダンス(吉田高等学校ダンス部)、人権啓発劇(遠見子ども会) <b>猿まわし:</b> 村崎太郎 <b>講演:</b> 講師 栗原美和子(テーマ:プロデューサーと猿まわし芸人私たち夫婦にできること) <b>対談:</b> 村崎太郎、栗原美和子 <b>人権ソング:</b> 村崎太郎							<b>決算額</b>
							<b>1,014千円</b>
							<b>実績値</b>
							<b>1100人</b>
<b>事業名:</b> 『三間町人権あったかコンサート』 <b>会場:</b> コスモスホール三間 <b>平成22年12月15日(水) 参加者:</b> 600人 <b>内容:</b> 三間高生による箏曲演奏、小学校4年生による人権啓発劇の発表、シンガーソングライター堀内佳によるコンサート							<b>進捗状況</b>
							<b>4</b>
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<b>事業名:</b> 『人権を考える市民の集い』 前半の部では、子どもから大人まで市民を巻き込んだバザー、手話コーラス、人権創作ダンス、人権啓発劇の発表など幅広い市民の参加と協力をいただき、様々な人権への取組みの中で、市民に人権をより身近に感じてもらい、人権の大切さを伝えることができた。 また、後半の部では、日本の伝統芸能を復活させた被差別部落出身の村崎太郎さんとテレビドラマプロデューサーの栗原美和子さんご夫婦を招き、村崎さんの猿まわしや弾き語り、対談、栗原さんの講演が行なわれ、お二人の差別と偏見のない社会への思いや願いが参加者それぞれの胸へ届けられた。参加者のアンケート結果は、「どれも心に残るすばらしい内容だった。」等大変好評だった。							
<b>事業名:</b> 『三間町人権あったかコンサート』 今年も昨年度同様、中学校生徒会及び高校生による実行委員会を中心に司会、運営を行った。実行委員会方式を採用したことにより、学校・行政・団体などの交流が深まり、日頃の人権学習への取り組みをアピールする良い機会となった。チラシを全戸に配布、ポスターを各公民館等に掲示、各種団体役員への案内を行なったが、例年並みの参加者となった。しかしながら、参加者からは好評であった。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							<b>5</b>
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							<b>4</b>
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							<b>4</b>
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							<b>4</b>
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							<b>4</b>
<b>平成23年度予定</b>							
<b>事業名:</b> 『人権を考える市民の集い』 <b>期日:</b> 未定 <b>会場:</b> 南予文化会館 <b>内容:</b> 未定							<b>予算額</b>
<b>事業名:</b> 『人権をまもる町民の集い』 昨年度、宇和島市主催の「人権を考える市民の集い」と合同開催した「人権をまもる町民の集い」を平成23年度は、吉田地域独自で開催予定。 <b>テーマ:</b> 「一人一人が大切にされる人権のまちづくりをめざして」 <b>会場:</b> 吉田公民館大ホール <b>内容:</b> 人権啓発資料作品展、バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(連合婦人会吉田支部)、創作ダンス(吉田高等学校ダンス部)、人権啓発劇(遠見子ども会)、人権講演会(講師未定)							<b>1,012千円</b>
<b>事業名:</b> 『人権あったかコンサート』 <b>平成23年11月8日(火)開催予定</b> <b>内容:</b> 三間高生による箏曲演奏、小学生による人権啓発ダンス、中学生による人権の歌、歌手う～みによるコンサート							<b>目標値</b>
							<b>1800人</b>

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	3 地域における男女平等に関する学習の推進
<b>具体的施策</b>	[3] 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
学習活動参加促進事業(生涯学習センター・地区公民館)	生涯学習課			充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができ、ますます高度化・多様化・専門化する学習ニーズに効果的に応えられるよう、生涯学習センターや公民館を始めとする生涯学習関連施設を中心に、多様な学級・講座や各種事業を開催し、市民に学習の場を提供する。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>【地区公民館】学級・講座(実施回数)            家庭教育講座:57回 人権・同和教育講座:36回 婦人学級:44回 高齢者学級:61回            成人学級:4回 公民館講座:157回</p> <p>【生涯学習センター】            1. 第18回生涯学習うわじまフェスティバル事業(参加人数)            ちょっと昔の大宮ホールに来て見祭第1弾:577人 市民大学(4回):215人            第8回宇和島名作劇場298人 青少年人材育成事業:75人 第13回宇和島文学歴史講座:195人            松山大学公開講座:51人 キャリア教育講演会:25人</p> <p>2. 市民講座(実施回数・受講者数)            光る泥だんご講座:2回・89人 ヨーガ教室:3回46人 切絵教室:4回43人            布で作るお正月飾り講座:4回73人 クリスマスリース講座:2回33人 パソコン講座:25回231人</p>							<b>決算額</b>
							<b>6,160千円</b>
							<b>実績値</b>
							<b>左記参照</b>
							<b>進捗状況</b>
							<b>4</b>
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>各種学級・講座及び事業は、男女の別や年齢に関わらずできるだけ多くの人が学べるように、土・日や日中、夜間等に分散して開催しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるよう工夫している。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							<b>4</b>
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							<b>4</b>
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							<b>4</b>
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							<b>4</b>
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							<b>4</b>
<b>平成23年度予定</b>							
<p>【地区公民館】学級・講座(実施予定回数)            家庭教育講座:89回 人権・同和教育講座:69回 婦人学級:37回            高齢者学級:63回 成人学級:33回 公民館講座:133回</p> <p>【生涯学習センター】            1. 第19回生涯学習うわじまフェスティバル事業(実施予定)            市民大学:4回 宇和島芸術祭 第9回宇和島名作劇場 第14回宇和島文学歴史講座 青少年人材育成事業</p> <p>2. 市民講座(実施予定回数)            光る泥だんご講座:2回 切絵教室:4回 パソコン講座:30回 布でつくる季節の飾り講座:2回            クリスマスリース講座:2回 ヨーガ教室:4回</p>							<b>予算額</b>
							<b>1,499千円</b>
							<b>目標値</b>

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続		新規
男女共同参画広報啓発事業	企画情報課 [総務]			充実			新規
<b>事業の概要</b>							
<p>男女共同参画に関する理解を広めるため、国の取組みや宇和島市で策定した「男女共同参画基本計画」に基づく施策などを広報誌などにより周知するほか、市民を対象とした講演会やイベントを開催して意識啓発を図ろうとするものである。平成22年度においては、市主催、教育委員会・女性団体連絡協議会との共催により「男女共同参画推進大会」を開催する。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>【男女共同参画推進大会】            日時:平成22年9月23日(木)13:00～15:30            場所:南予文化会館            内容:啓発DVD上映(ワーク・ライフ・バランス)            男女共同参画作品表彰式            標語・川柳作品展示,            ロビー展(男女共同参画啓発パネル展,人権に関するパネル展,健康に関するパネル展)            講演会「一緒に生きて行こう～この世に生まれ、生きて、生かされて～」講師 家田荘子 氏</p>							決算額
							1,091千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
4							
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>「男女共同参画推進大会」において、身近なテーマに視点を置いた講演や啓発用DVDの上映を行うことにより、実生活と男女共同参画との関わりについて、意識が深められたと思われる。また、家族や地域への感謝の気持ちなどを込めた標語・川柳作品を大会に先立って募集し、優秀作品について表彰等を行なった。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成23年度予定</b>							
<p>【男女共同参画講演会】            日時:平成23年6月25日(土) 14:00～15:30            場所:南予文化会館            内容:講演会 講師 菊地 幸夫 氏            ロビー展            (男女共同参画啓発パネル展,人権に関するパネル展,健康に関するパネル展,消費生活に関するパネル展)</p>							予算額
							1,186千円
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
ICTメディア・リテラシーの推進	企画情報課 [総務]						
事業の概要							
実施していない							
平成22年度実績							
							決算額
							実績値
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成23年度予定							
							予算額
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
生きる力を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	78%	100%				
<b>事業の概要</b>							
それぞれの個人が、さまざまな情報について取捨選択し、必要な内容については情報の共有化を図る。 いろいろな情報に対して、自ら判断できるような資質の育成を図る。							
<b>平成22年度実績</b>							
研修やインターネット・書籍等で得た情報を指導に活かした。 情報の選択や真意についての検討、処理、発信について研修を行った。 ホームページ更新のための研修やソフト活用のための研修を実施。 ウィルスチェックの方法指導とチェックの日常化を行った。 総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し活用できるようにした。							決算額
							実績値
							80%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
校内研修に活かすことができた。 教職員のパソコン管理(セキュリティ)が慎重になり情報管理の意識の高まりが見られた。 教職員の中にメディア・リテラシーのレベルに差がある。 各メディアにおける違和感や知らないことが起因するミスが少なくなった。 総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し、インターネットを通じて情報収集ができるようになった。							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成23年度予定</b>							
情報モラル教育の充実(パソコン、携帯電話)。 学校ホームページの充実を図る。 各自の活動をプレゼンテーションするなど、情報機器の活用方法の研修。							予算額
							目標値
							100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-